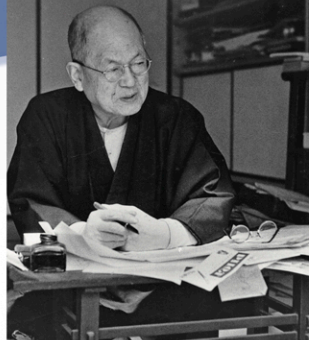


武者小路実篤は たくさんの詩をかきました

実篤先生の詩は
2000以上もあるんだって！



“さびしさ”が詩になる。
言葉ってすごい。

飼犬の帰ってくる如く。

逐い出せども逐い出せども

淋しさ我が胸に入りこむ、

逐い出せども 逐い出せども

淋しさ



さねあつ先生の詩は、やさしくて、やさしくて(優しくて・易しくて)、深いね。

つい足をすべらした、
かまわない
過ちを再びするな
進め、進め。

後悔なんかしてられない、
したいことが多すぎる
進め、進め。



ボクも大きな声で
「お〜い」って・・・
元気になりそう！

おーい。

そして時々、大声で怒鳴って見たい。

大股で力を入れて歩いて見たい。

長い廊下を一人で
どしんどしんどしんと

長い廊下

武者小路実篤詩集
亀井勝一郎編

新潮文庫

さあ
実篤先生の詩
を
読んでみよう